

DACS-1500/1700/2500 Linuxでの動作情報

デジタル入出力基板 DACS - 1500 / 1700 / 2500 各シリーズは、下記の Linux にて、OSインストール時に自動的に仮想COM版相当のドライバが組込まれます。なにも特別な処理をする必要はありません。

1. 動作確認済みのLinux

```
CentOS 5.2                (2008年動作確認)
RedHat Linux 9.0          (以下 2004年動作確認)
Suse Linux 9.1 Personal
Fedora Core 2
```

2. インストール後の動作確認方法

ターミナルを開いて入出力リダイレクトにより、簡単に動作確認を行うことができます。

- (1) root 権限にてログオンしてください。
- (2) グラフィカルモードにて起動してください。
- (3) システムツール - - > ターミナル にてターミナルを起動してください。
コマンドラインに下記内容をキー入力し、
入力デバイスを DACS - 1500 にリダイレクトします。

```
cat < /dev/usb/ttyUSB0
```

CentOSの場合は

```
cat < /dev/ttyUSB0
```

- (4) システムツール - - > ターミナル にて、もう一つ別のターミナルを起動してください。
コマンドラインに下記内容をキー入力し、
出力デバイスを DACS - 1500 にリダイレクトします。

```
cat > /dev/usb/ttyUSB0
```

CentOSの場合は

```
cat > /dev/ttyUSB0
```

出力デバイスをリダイレクトしたこのターミナルにて、たとえば、
W0000000 と入力し、DACS - 1500 / 1700 / 2500 に
データを送信すると、
先の(3)項にて開いたターミナルに
R0000000 というような、受信データが表示されます。

以上

2008. 8. 5

ダックス技研株式会社